

「情報公開文書」

研究課題名：血管新生加齢黄斑変性に対するファリシマブの短期治療成績

倫理審査担当：千葉地区倫理審査委員会

承認日：西暦 2023 年 7 月 25 日 承認番号： 23-Nr-013

1. 研究の対象

2023. 7. 25～2024. 3. 31 までに当院でと加齢黄斑変性症と診断され未治療の患者様

2. 研究目的・方法

研究期間は2023年8月1日～2024年3月31日までとします。

加齢黄斑変性とは、網膜の中の視界の真ん中の中を見る役割を担う黄斑という組織が加齢などによりダメージを受け徐々に変性していき視力の低下を引き起こす病気のことです。加齢黄斑変性症には大きく分けて「萎縮型」と「滲出型」の2つのタイプがあります。「滲出型」は網膜の下に新しい血管（血管新生）が生じることにより視力が低下します。「滲出型」である血管新生加齢黄斑変性症に対しては以前より抗 VEGF 薬という薬剤を使用することで、新生血管の活動を抑える治療が行われてきました。2022 年より使用されてきた薬剤に抗 VEGF 作用に加えて副次的な作用を有するファリシマブという新規薬剤が使用可能となったため、その特性について調査すること目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：カルテ上の生年月日、視力、網膜厚、脈絡膜厚、等を使用いたします。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究者：

国際医療福祉大学成田病院 眼科 医員 岡本 淳史

電話：0476-23-3607 眼科 PHS90090

Mail: a-okamoto@iuhw.ac.jp

住所：〒286-0124 千葉県成田市畑ヶ田 852

研究責任者：

国際医療福祉大学成田病院 眼科教授 柴 友明